

授業科目名・形態	医療保健制度論 講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	石岡 和志	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

この講義では、保健、医療、福祉に関連した関係法規と制度の基礎について学ぶとともに、社会保障制度との関連性を理解する。また、福祉職として利用者の健康な生活を支えるための制度とその活用方法を学び、これからの保健、医療、福祉のあり方を考えていくことを目標とする。

【到達目標】

1. 人口構造と疾病構造について理解する。
2. 医療提供制度について理解する。
3. 医療保障制度について理解する。
4. 国民医療費について理解する。
5. 保健医療対策の現状について理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 人口構造と疾病構造
- 第 2 回 医療提供制度①－医療関係者－
- 第 3 回 医療提供制度②－医療施設－
- 第 4 回 医療保障制度①－医療保険制度－
- 第 5 回 医療保障制度②－公費負担医療制度－
- 第 6 回 医療保障制度③－医療給付方式と診療報酬制度－
- 第 7 回 国民医療費
- 第 8 回 保健医療対策の現状

【授業実施方法】

講義形式。学生の授業への積極的な参加を目的としてグループワーク、ディスカッションを適宜実施する。社会福祉士国家試験対策も随時行い、実践的な内容とする。

【授業準備】

社会福祉士国家試験必須科目の「保健医療論」と密接に関わっているので、前期に開講された内容を復習してほしい。

【主な関連する科目】

保健医療論、社会保障論Ⅰ・Ⅱ、貧困に対する支援

【教科書等】

関連する科目の教科書を使用する。

【参考文献】

適宜授業で紹介、配布する。

【成績評価方法】

成績評価は、授業への取り組み姿勢（10%）、提出物（30%）、定期試験（60%）で総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉事業所に勤務していた際、生活保護受給者の自立支援医療費制度に関わってきた。制度を理解しながら生活困窮者への支援についても伝えていきたい。

【学生へのメッセージ】

復習を重点的に行うことで科目の理解度を深め、社会福祉士国家試験対策に役立ててほしい。保健・医療・福祉の各制度は相互に関連しながら機能しており、各制度の関連に着目しながら主体的に学習すること。